



## もうひとつの教材

地域の森林や林業、木材産業について学ばなければ、せっかく道産木材を使った教材で授業をしても効果は得られないのではないのでしょうか。今回は、森林の概要と公益的機能、地域の森林を管理する林業の役割と必要性について、モデル授業の際に資料を用いて生徒達に説明しました。

北海道で作成している北海道の森と木をもっと知るためのテキストを配布しました。  
**空気も水もタダじゃない!**

第1話



第2話



第3話



このテキストは

※北海道水産林務部林務局森林計画課編

北海道のホームページからダウンロードできます。

北海道森林計画課のホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/srk/moritokiwoshiru.htm>

モデル地域の森林の概要と、教材で採用する樹種に応じて、プリントを作成しました。



地域の森林・林業についての統計を盛り込んだページと、木工で使用する樹種の立木の写真やコラムを盛り込み、ものづくり中心の授業にプラスアルファとなるように作成しました。



## 取組みの成果

意見交換会で出てきた取組みの成果、課題と検討に対して次のような成果が得られました。

### 課題と検討

①授業数が減少する中での木育の導入



製作時間に自由度を持たせた教材を採用したことなどにより、コンパクトに木育を盛り込むことができました。

②木育に対する指導体制



新たな教材に対する教育関係者と木材関係者の協働によって、授業をスムーズに進めることができました。

③道産木材を活用した安価な教材



道産木材に関しては、木材業界からの情報提供などを図り、バックアップします。

今後は、この取組みの成果を広くPRして、全道に木育の輪を広げていきます。

### 成果内容



## 取組みの波及効果

総合的な学習の時間での、講演を実施しました。



札幌でのネットワークの活動の一環で、札幌市立白石中学校での総合的な学習の時間において、地域の森林や林業について、北海道石狩森づくりセンターから講師を招いて講演会が実施されました。地域の産業としての林業・木材産業を学ぶことは大変有意義であり、生徒も関心を持って話に聞き入っていました。

会場には、チェーンソー、ヘルメットや、鋸、ナタなど、普段は見ることのできない作業道具の展示もあり、こちらのほうにも注目が集まっていました。



## 植樹用の苗木を提供しました



技術の授業で木材という資源を消費した分、新たに植樹することにより資源の持続や、二酸化炭素の吸収につながります。

こうした取組みは生徒にとって、自らと環境のつながりが直接的に考えられ、抽象的になりがちな自然保護や、環境保全などのイメージが具体的になるという点で効果があるのではないのでしょうか。

今回は、二酸化炭素の吸収に優れる、北海道立林産試験場で開発した、「クリーンラーチ」を無償提供しました。

北海道では、地域の森林や林業に関する授業に協力しています。

### おわりに

中学校の学習指導要領の改正により、技術の選択時間がなくなり、木工の時間が減るとのお話がありました。一方で、改正指導要領の内容は「森林や木」が後退するわけではなく、工夫をして木工は取り入れていきたいとお話もありました。今回の事業で関わっていただいたような、意欲的な学校や先生は、道内各地に多くおられると思っており、その方々のご努力により「木育」の取組みが一層進むことを期待しています。この事業の実施に当たり、教育関係の皆さん、教材提供企業、さらに、麻生木材工業株式会社、東邦木材工業株式会社、丸善木材株式会社、株式会社ササキ工芸に協力をいただいたことに感謝いたします。

ご相談・お問合せはこちらまで TEL 011-204-5490/FAX 011-232-1294

北海道では、今回のように道産木材を授業に活用してくれる学校に対し、授業への資料提供、情報提供を通じ、先生への木育のサポートをしていますので、お気軽に御相談ください。

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
北海道庁水産林務部林務局林業木材課

北海道の木育  
ホームページ

北海道 木育

検索

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rmm/mokuiku/index.htm>

北海道は、木とふれあい、木に学び、木と生きる「木育」を道民運動としてすすめていきます。